

【札幌市冬みちプラン2018・実行プログラム】取組の進捗総括(令和4年度実績)

○「実行プログラム」に示す新規・拡充の取組(全93項目)のうち、令和4年度末時点における取組状況を以下に示す。

- ・「取組完了」は、11項目(11.8%)
- ・「試行又は実施中」は、59項目(63.4%)
- ・「調整又は検討中」は、23項目(24.7%)

視点/重点施策	取組計 (新規・拡充)	取組完了 (◎)	試行又は 実施中 (○)	調整又は 検討中 (△)
視点1 安心・安全な冬期道路交通の確保	28	3	20	5
(1) 効果的な除排雪の推進	16	2	11	3
(2) 凍結路面对策の推進	8	0	6	2
(3) 大雪に備えた体制の確保	4	1	3	0
視点2 除排雪作業の効率化・省力化	21	3	13	5
(1) 作業の効率化・省力化による生産性の向上	6	0	6	0
(2) 雪対策施設の安定的・効率的な運用	11	3	5	3
(3) 地域内雪処理の推進	4	0	2	2
視点3 除排雪体制の維持・安定化	19	1	11	7
(1) 経営の安定化につながる取組の推進	10	1	7	2
(2) 除雪従事者の定着・育成支援	9	0	4	5
視点4 雪対策における市民力の結集	12	1	8	3
(1) 市民と行政との協働の推進	3	1	2	0
(2) 除雪ボランティア活動の取組強化	5	0	3	2
(3) 歩く人に優しい冬のみちづくり	4	0	3	1
視点5 雪対策に関する広報の充実	13	3	7	3
(1) 冬の暮らしに関する広報	4	1	3	0
(2) 多様な手法を活用した効果的な広報・啓発	9	2	4	3
各視点の取組数合計	93	11	59	23

○「主な取組」における令和4年度の実績

視点/重点施策/主な取組	令和4年度の実績
【視点1】 (1) 効果的な除排雪の推進	
1-(1)-①-4 バス路線の除排雪作業の強化	「路肩の狭いバス路線」の排雪を強化(24km対象路線追加)
1-(1)-②-10 生活道路の除雪方法変更に向けた検討	試行実施(18地域)
1-(1)-②-15 パートナーシップ排雪制度の見直し	排雪断面の選択性を継続
【視点1】 (2) 凍結路面对策の推進	
1-(2)-②-29 歩道の凍結路面对策の強化	歩道滑り止め材散布回数を20回/年から40回/年に倍増 (259.4km設定)
【視点2】 (1) 作業の効率化・省力化による生産性の向上	
2-(1)-①-41 除雪機械の1人乗り化【ICT活用】	安全補助装置が搭載された1人乗り機械を累計69台(14台増)導入 既存機械への安全補助装置を累計106台(28台増)設置
2-(1)-①-42 雪堆積場の選定システムの導入【ICT活用】	システム構築及び仮想運用
【視点3】 (2) 除雪従事者の定着・育成支援	
3-(2)-①-76 作業日報などの提出書類の電子化【ICT活用】	除雪機械へGPSを搭載(810台)
【視点4】 (2) 除雪ボランティア活動の取組強化	
4-(2)-①-85 除雪ボランティアのコーディネート	除雪ボランティアのコーディネートを実施 (4団体)
4-(2)-①-86 除雪ボランティア活動に対する支援	除雪ボランティア拡大につながる支援策を実施 (140団体予定)
【視点5】 (2) 多様な手法を活用した効果的な広報・啓発	
5-(2)-①-100 様々な広報ツールを複合的に活用した情報発信	テレビ、デジタルサイネージ及びSNS(LINE、Twitter)、劇場 CMにより情報発信
5-(2)-③-104 悪質な路上駐車に対する実効性のある対応	「冬の暮らしガイド」の全世帯配布及び合同パトロールを実施
5-(2)-③-105 「雪パト隊」の設置に向けた検討	市民対応時に指導・啓発として利用できるチラシの活用